



八千代市郷土歴史研究会
会長 村田一男
事務局 八千代市勝田台3-24-10 牧野方

＝おしらせ＝

8月22日(日) 八千代市立郷土博物館
10時～12時 臨時運営委員会
(会の細則、懸案事項などの協議)
役員はご参集ください
13時～16時 8月例会
(文化祭・機関誌発表項目の決定・
発表作品中間報告など)
すべての会員はご参集ください
『郷土史研通信』第71夏号発行・配布

平成22年度八千代市民文化祭
ふるさとの歴史展
旧村のいま 旧萱田村

と き：11月27日(土)午後1時～5時
(会場設営は午前9時から)
同 28日(日)午前9時～午後4時
ところ：勝田台文化センター2階展示室

今後の日程

9月5日(日) 八千代市立郷土博物館
10時～12時 運営委員会
(展示作品決定・機関誌原稿確認)
役員はご参集ください
13時～16時 9月例会
(展示作品・機関誌原稿の発表など)
すべての会員はご参集ください

全国的にも有名な「萱田遺跡群」、古い歴史と伝統が息づく神社やお寺、そして新しい街づくりがすすむ萱田地区の歴史を研究することは、私たちの長い間のテーマでした。

今年はその研究1年目、調べははじまったばかりですが、その途中経過を市民の皆さんに発表します。当日は当研究会の機関誌『史談八千代』第35号が発行されます。多くの会員が研究の成果をそこに発表し、また二日間にわたる展示会では、その内容を判りやすい形でお見せします。

10月17日(日) 八千代市立郷土博物館
10時～16時 10月例会
(会員相互による機関誌校正と展示作品の打合せなど)
すべての会員はご参集ください

＝報 告＝

6月11日(金)～12日(土) 一泊研修旅行
「飯綱信仰の源流と一茶の故郷を訪ねる」

10月29日(金) 八千代市立郷土博物館
10時～16時 機関誌最終校正
(編集委員による機関誌の最終校正)
機関誌編集委員はご参集ください

参加：28名(会員19人、会員外9人)
天候：両日とも快晴
出発：11日(金) 勝田台北口午前7時
帰着：12日(土) 同 午後8時10分
会費：25,000円
宿泊：今井旅館(長野市戸隠)
ツアーリスト：トラベル安藤(大型観光バス)

11月14日(日) 八千代市立郷土博物館
10時～16時 展示作品の共同制作
(文化祭の展示作品を作成)
すべての会員のご協力をお願いします

【主な研修ルート】
11日：「飯綱神社ノ由来」の原文解説(バス車内にて菅野氏)→飯縄神社里宮→戸隠神社中社宮司(越志徳門氏)の著作『飯綱山と飯縄信仰』が配布され、子息の禰宜寿治氏から説明
12日：朝食前にお祓い→戸隠奥社など戸隠五社参拝→一茶記念館→松尾酒店見学

11月23日(祝日) 第7回サポセン祭り

昨年について「やちよ市民活動サポートセンター」の「第7回サポセン祭り」に今年も出展が決まりました。ご協力をお願いします。
場所 イオン緑が丘ショッピングセンター広場
時間 10時～17時

この旅行については、『史談八千代』第35号に詳細が報告される予定です。

6月25日(金) 14:50~16:00

臨時例会が開催されました

場所：東京成徳大学八千代キャンパス 105 教室
出席：28名

①旧萱田村総合研究テーマの素案発表

村田会長から14項目の研究項目と分担者の素案が提案され、一部項目の追加があり次回例会には各項目ごとの研究メンバーの登録を要請されました。

②旧萱田村個別研究経過報告（詳細別項）

③「佐倉道を歩く」実行委員会が組織化（同）

なお例会の欠席者には今回から議事録「例会だより」が送付されます。パソコンメール利用者へは電子メールで、その他の会員へは郵送によって送付します。

7月11日(日) 13:00~16:00

7月例会が開催されました

場所：村上公民館

出席：24名

①旧萱田村研究テーマと研究メンバーの確定

研究項目・リーダー・メンバーが右表のように決定し、正式に今年度もしくは明年度の調査研究が開始しました。まだメンバーに記載されていない会員も積極的にいずれかのテーマに参画ください。

②滝口会員が神野の安藤家所蔵の「天明6年村絵図」を閲覧し、調査内容が報告されました。

③平成22年度市民文化祭日程表の詳細が報告されました（事務局長）。

受託事業「佐倉道を歩く会」報告

志津公民館からの受託事業で佐倉・城下町400年記念「佐倉道を歩く会」の実行委員会が組織され、4コースの予定ルート下見が7月1日までにすべて実施されました。

酷暑の中を下見に歩いた実行委員の皆さん、ご苦労さまでした。ルートなどが確定しました。

【ただし佐倉市民を対象、各コース20名限定】

第1回(10/27・10/31) 市川関所跡～船橋西向き地蔵

第2回(11/3・11/7) 船橋～東葉緑が丘

第3回(11/10・11/21) 東葉緑が丘～志津駅

第4回(11/17・12/5) 志津～佐倉城大手門跡

旧萱田村総合研究テーマ
リーダー・メンバー

	研究項目	リーダー	メンバー
1	2月講演会(遺物が語る萱田)	畠山	
2	萱田村文献資料	菅野・関和	森山・鈴木(康)
3	萱田村市外資料(印西市)	滝口	鈴木(康)
	同(旧本埜村・印旛村など)	羽計・松村	鈴木(康)
4	萱田村年表	村田	畠山・鈴木(康)
5	地名研究	滝口	大和田・鈴木(康)
6	ゆりのき台市街地開発史	佐藤	大和田・中島
7	石造物	小菅	渡邊・鈴木(康)
8	村の構成表	菅野	関和・畠山・田村・森山 鈴木(康)
9	民族①梵天塚	村田・平塚	増田・渡邊・鈴木(康)
	同上②奥州詣り	平塚	渡邊・鈴木(康)
	同上③天道念仏	平塚	渡邊・鈴木(康)
	同上④子安講		鈴木(康)
	同上⑤九日念仏		鈴木(康)
10	飯綱神社①飯綱信仰	蕨・田村	平塚・藤村・鈴木(康)
	同上②ナベシン		吉野
	同上③33年ごとの大祭	田村	
	同上④今年は中年(なかどし)	田村	
	同上⑤二十四孝彫刻	藤本	目黒
	同上⑥萱田市	田村	
11	熊野神社祭礼	牧野	
12	時平神社	牧野	
13	長福寺の紹介	佐久間	成田・斎藤(悼)・石井 中島・鈴木(千)
14	沼津藩の印旛沼掘割普請	菅野・村田	石田
15	文化教育①俳諧	関和	
	同上②和算	佐久間	
	同上③私立実利義塾	佐久間	吉野・斎藤(悼)
	同上④私立大和田高小	佐久間	吉野・斎藤(悼)
16	産業①養蚕		
	同上②酪農		
17	御嶽山講		

萱田村の研究 経過報告

本年度のテーマ「旧萱田村研究」が進んでいます。どのような調査・研究が行われているかを簡単に紹介します。

聞き取り

萱田地区花見会(4/3)：役員へ挨拶・子安講聴取
下区長寿会(4/20)：屋号など
飯綱神社総代(5/23)：例祭、年間行事など
花島利雄氏(5/23)：梵天作りなど
熊野神社例祭(6/6)：例祭参列、直会参加
松戸「鍋新」(8/7)：飯綱神社奉納額の寄進者

資料閲覧

上区長寿会(5/5)：収蔵資料(旧薬師堂)閲覧
飯綱神社社務所(5/23)：拝殿・所蔵資料閲覧
故飯山憲治氏(5/27)：「飯綱神社の由来」など
印西市清田勝家(3/23)：萱田村絵図
千葉市立郷土博物館(7/16)：川口家文書目録調べ
長福寺(7/24)：曼荼羅、明治期文書など
千葉市立郷土博物館(7/28)：川口家文書閲覧
同館の協力により旧千葉北柏井村川口貴雄家の膨大な史料から、「萱田村」関連資料を閲覧撮影しました。



石造物調査

水神宮・長福寺・池の台庚申塔・太子堂・時平神社・梵天塚・熊野神社・飯綱神社など 4/24～6/5にかけて調査

基礎資料

萱田村年表：年表(村田)
萱田村文献資料：『八千代市の歴史』ほか(菅野)
萱田の地名：「萱田村と萱田町について」(滝口)
萱田の屋号：『史談創刊号』から(菅野・佐久間)
石造物一覧表：『八千代の歴史』より抜粋(小菅)

○萱田飯綱神社と飯縄信仰(蕨)

(7月例会に提出された経過報告から)

- (1) 関東の飯縄信仰の社寺探訪
- (2) 八千代市近隣の飯縄信仰の社寺・遺跡

- ① 佐倉市吉見の飯縄神社
- ② 物井の不動堂
- ③ 白井市谷田の飯縄権現社
- ④ 千葉市大宮町の飯縄神社跡(石標)



(3) 今後の方針

- ① 信州飯縄信仰と戸隠信仰の歴史の整理
- ② 関東と八千代周辺
の社寺・遺跡データ収集し萱田飯綱神社の研究へ繋ぐ
- ③ 飯縄神と秋葉神との比較

現地報告 大和田新田供養塚の調査(蕨)

大和田新田の鈴木家(ジンベエ)が氏神を祀る供養塚(通信 61号参照)が地域開発に伴って埋蔵文化財調査の発掘対象となっています。



左の写真は縦半分にとりきられた断面です。黒土とローム土が積み重ねられていることがわかります。

右は塚の中腹にあった馬頭観音坐像、舟型光背で銘は「享和元西九月吉日」でした。近世の貴重な遺跡として、結果の公表が期待されます。



短 信

機関誌編集委員会からのお知らせ 『史談八千代第35号』 編集日程

- 8月22日(日) 例会において執筆者から標題・執筆枚数の概略を申告してもらい、目次構成等を検討し大筋を決定する
9月5日(日) 掲載原稿を会長まで提出期限
9月19日(日) 編集委員会へ確定原稿〆切期限
10月17日(日) 会員全員による校正作業
10月29日(金) 編集委員と執筆者による最終校正作業
11月27日(土) 刊行・配布開始

ようこそ

新入会員紹介

小花きよ子さん(4/1) 千葉市花見川区在住
鈴木靖裕さん(8/1) 八千代台南在住

おせわになりました

退会会員

恵志あやさん(4/1)

総会員数は68名(8/1現在)となりました。

会員の動向

☆東京成徳大で特別講義

東京成徳大学人文学部「房総地域文化研究プロジェクト」が主催する公開講座が6月25日開催され、当会から二人が特別講義を行いました。

「明治と昭和、若くして散った二人の女高生」

佐久間 弘文

「萱田村絵図」 滝口 昭二

☆房総石造文化財研究会で講演

蕨由美会員は6月14日、房総石造文化財研究会の「石仏勉強会」で「北総の子安像塔の系譜」と題する研究発表を行いました。

また7月19日、同研究会の「第10回石仏見学会」で、江戸川西岸沿いの庚申塔を訪ねる会の案内人となりました。

☆小菅、鈴木両会員が執筆



同じく房総石造文化財研究会の30周年記念として出版された『続房総の石仏百選』（たけしま出版、2千円）に小菅会員が小池妙光寺の「月天子」と千葉市長沼の「石絵馬」、鈴木登会員が先崎鷲神社の「石鳥居」を写真入りで執筆しました。このほかに八千代市内の選には萱田の「二十

三夜塔・日記念仏塔」が載っています。

☆滝口会員が『船橋の地名』第52号を発刊

「船橋地名研究会」（滝口昭二会長、会員数211名）は7月1日に第52号を発行。「成田市寺台城について」ほか多彩な研究が報告されています。

☆「八千代の狛犬たち」第6回目を発表

日本参道狛犬研究会の機関紙『狛犬の杜』第78号（6月29日発行）に平塚会員の好評連載「八千代市の狛犬たち」第6回目一片足が宙に浮いた狛犬が掲載されました。

☆弥生時代の萱田・村上地域は重大な交易地？

歴博友の会見学会「古代の東国探訪学習会」が7月16日田中会員の主宰で開催されました。古代香取の海と東京湾を結ぶ最短の水運コース、

花見川－陸運－平戸川コースが存在し、そこを支配する権力の存在、萱田・村上地域が重要な交易場所ではなかったか、という想像が生まれました。田中会員は歴博友の会運営委員として史跡見学会などを企画実施しています。

☆村田会長が「ふれあい大学校」などで講義

村田会長は4月～7月にかけて市ふれあい大学校、同OB会および勝田台公民館創年ふれあい学級で八千代の歴史探訪・印旛沼開発・桑橋の絵図などの講義を実施しました。

☆吉橋大師・千葉寺十善講札所を単独行

村杉スミ子会員は吉橋大師札所の単独巡拝を昨年春から開始、8月11日ついに結願しました。前後して千葉寺十善講巡拝に挑戦中です。

酒井正男さんを偲ぶ

酒井正男氏が平成22年6月16日、ご自宅で逝去されました。享年71歳。

氏は平成13年に入会され、当会の活動は「八千代の歴史散歩」づくりやふるさと八千代市民提案事業で430ページにのぼる『ふるさと再発見 八千代の道しるべ』を刊行した時期でした。これらの経験から旧村を村ぐるみで調べてみようという発想で、まずは石造物の調査が済んでいない「上高野」を調査対象として取り上げました。調査・研究成果は2001年（平成13）11月『史談八千代26号』に「特集I 旧村紹介・上高野」として刊行し、その中で酒井氏は調査成果として上高野の「毘沙門堂の縁起と行事」を発表されています。

氏の活躍ぶりは「古文書の酒井さん」とよばれて親しまれました。入会以前から古文書解読学習を重ね、文書史料解読では特に用語、用字の解読・解釈・解説に力量を発揮され、氏に問えば懇切丁寧にすぐに答えが戻り、みな「得たり」という心境で重宝させていただきました。

また氏の器用さは篆刻・製本・資料補修、復元技術にまでおよびさらに庭木の剪定も女人並でした。植物名にも造詣が深く自然保護活動にもかわり幅広い人脈活動家でありました。

最後に、氏は奥様の老いの病に献身的に看病されておられ誰しも敬服しておりました。よき会友・活動家であられた酒井正男氏を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。（村田一男）

亡き友を 送りし雨の ^{こしたやみ} 木下闇（牧野）

編集後記

例年のない酷暑でした。71号をお届けします。今回から編集は総務で持ち回り。「会員の動向」欄をつくりましたので会員からの情報をお寄せください！（佐久間）